

デジタル田園都市国家構想推進交付金の採択について

令和4年5月13日付で申請しましたデジタル田園都市国家構想推進交付金（デジタル実装タイプ）TYPE3「まえばし暮らしテック推進事業」について、採択となりました。また、群馬県が申請主体となるTYPE2「ぐんま共創モビリティ社会推進事業」につきましても採択となりましたので併せてお知らせいたします。

1. 採択事業

①TYPE3（補助率2／3）「まえばし暮らしテック推進事業」

事業費：741,530千円（うち、採択額（国費）494,353千円）

取組内容：市民を含めた本市とつながる人によって育まれる共助型未来都市を目指し、一人ひとりがWell-Beingでいられる街を実現するため、暮らしのあらゆる局面において、データ連携と最先端の技術によりデジタルで社会課題を解決（テック）する「暮らしテック推進」を行い、地方中核都市の先駆けとなるモデルを実装します。まえばしIDの活用により、自分に関するデータを本人の同意に基づきサービス提供者に使用許諾（オプトイン）することで、暮らし全般にわたり個別最適化したサービスの実現に取り組みます。

②TYPE2（補助率1／2）「ぐんま共創モビリティ社会推進事業」

申請者：群馬県（広域連携自治体：前橋市）

事業費：392,250千円（うち、採択額（国費）196,125千円）

取組内容：過度な自家用車依存からの脱却を目指し、群馬県が前橋市とともに、MaaS（マース）の社会実装に取り組みます。地域住民や旅行者一人ひとりの移動ニーズに対応して、バスや鉄道、タクシーやシェアサイクルといった複数の移動サービスを最適に組み合わせ、一括で提供するものです。さらに福祉サービス等とも連携し、より利用者のニーズに寄り添った、利便性の高い仕組みの構築を目指します。また、前橋市が独自に構築する個人認証の仕組みである「まえばしID」も活用し、移動サービスの個別最適化にも取り組みます。

2. 参考

TYPE2、TYPE3の事業概要については別紙のとおり